

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 平成 29 年 第 23 週（平成 29 年 6 月 5 日～平成 29 年 6 月 11 日）

## 今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 1 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 3 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 2 人、水痘（入院例）1 人、梅毒 4 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、咽頭結膜熱(1.15 1.28：図 1)の定点当たり報告数は 3 週連続で増加し、過去 4 年で最も多い。保健所別では、秩父保健所を除く 15 保健所管内から報告があり、10 保健所管内で定点当たり報告数が前週を上回った。また、春日部(2.67)、越谷市(2.25)、朝霞(1.93)保健所管内で報告が多い。年齢階級別では、1 歳からの報告が最も多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.28 4.89：図 2)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、川越市(7.63)、川口(7.47)、熊谷(6.56)、朝霞(6.47)保健所管内で報告が多い。年齢階級別では、3～8 歳で全体の 70.3%を占めている。眼科定点報告対象疾患である流行性角結膜炎(1.43 1.53：図 3)の定点当たり報告数は前週に引き続き増加し、過去 4 年の同時期と比較し最も多い状況が続いている。RS ウイルス感染症(0.17 0.24：図 4)の定点当たり報告数は前週よりわずかに増加した。その他の眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎 1 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 2 人、クラミジア肺炎 1 人、感染性胃腸炎（ロタウイルス）1 人の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 人（類型 患者、血清型 O121）
四類感染症	レジオネラ症	3 人（病型 肺炎型 3 人）
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人（病型 腸管アメーバ症）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人（菌種 <i>Serratia</i> sp.）
	急性脳炎	1 人（病原体 不明）
	後天性免疫不全症候群	1 人（病型 無症状病原体保有者）
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
	水痘（入院例）	1 人（病型 検査診断例）
	梅毒	4 人（病型 早期顕症 期 3 人、 無症状病原体保有者 1 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

## <今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 咽頭結膜熱

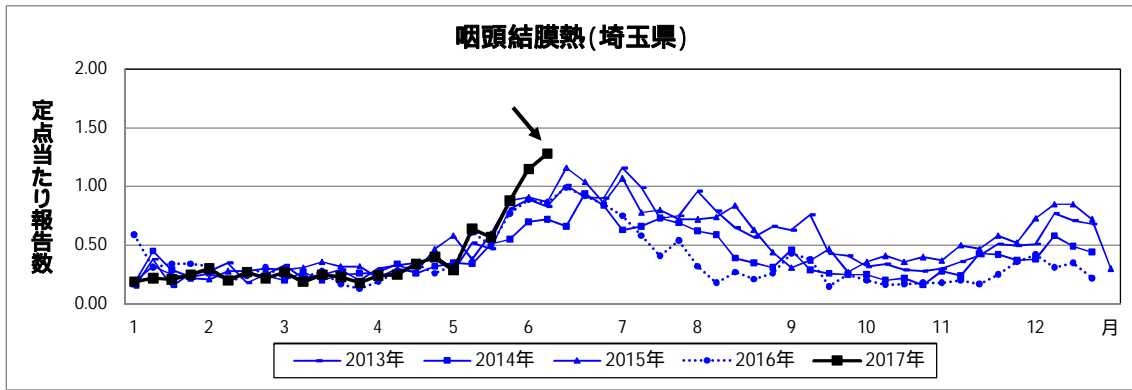


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

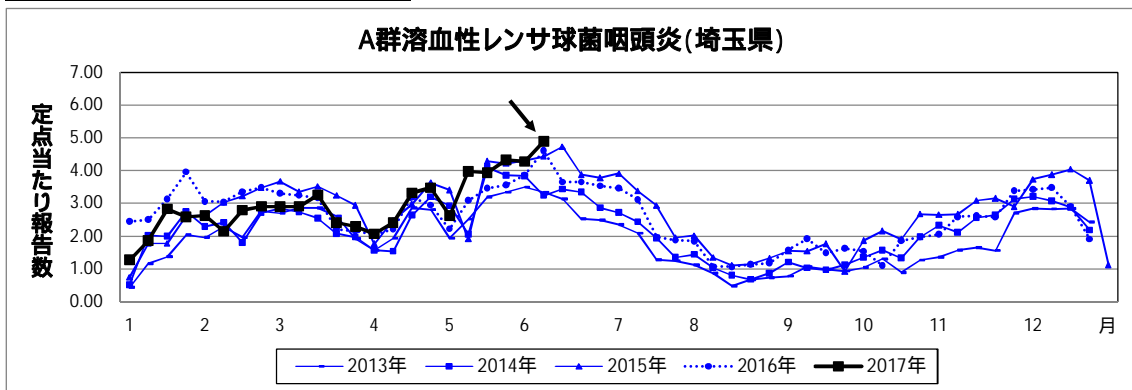


図3 流行性角結膜炎

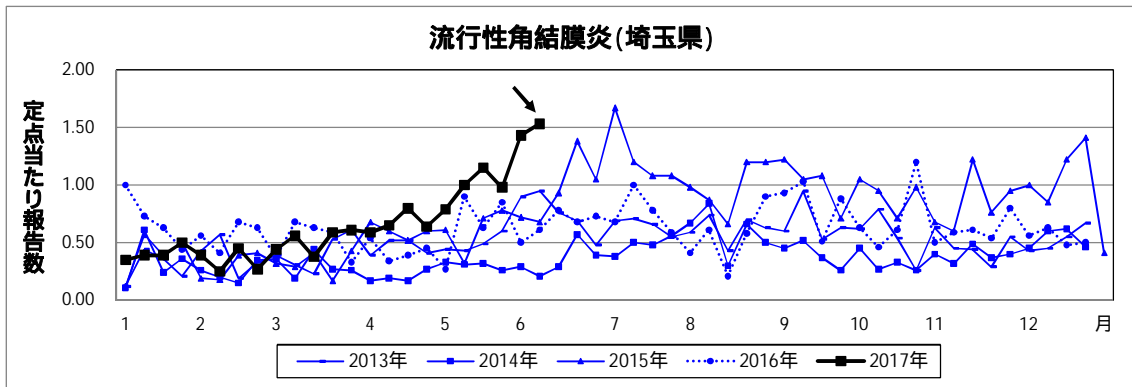
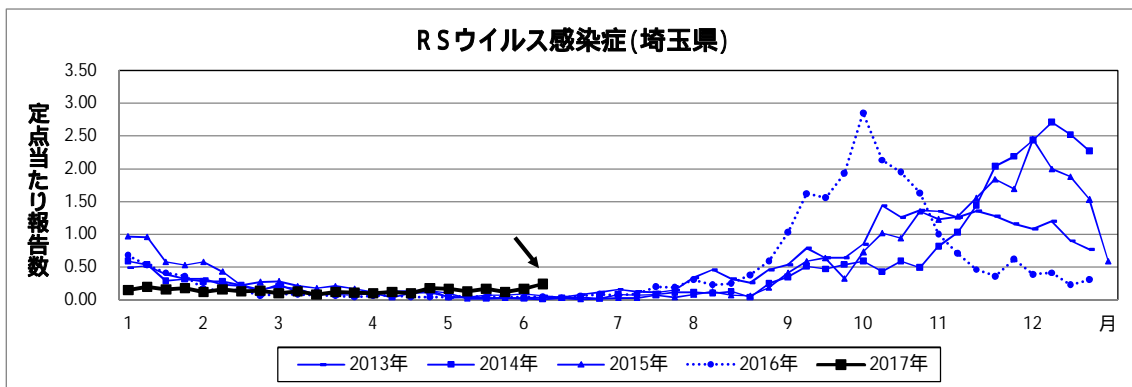


図4 RSウイルス感染症



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第23週)

(2017年6月13日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢		3	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	34			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		8	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	21
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		7	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	1	25	侵襲性肺炎球菌感染症	2	74
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘*	1	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	29	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	23	梅毒	4	87
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	17	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		6
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		8	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		4
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3	1		

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(5月分)

5月の届出総数は、患者87人、無症状病原体保有者31人の計118人で、患者数は前月より増加し、前年の同月と比較しても多かった。無症状病原体保有者の数は、前月及び前年の同月と同水準であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年5月～2017年5月)

	2016年*								2017年					累計**
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
<b>総計</b>	107	126	127	129	132	119	82	111	101	104	103	100	118	526
<b>年齢階級</b>														
10歳未満	3	5	3	2	7	3	1	4	0	2	2	4	5	13
10歳代	2	2	1	3	1	2	1	0	1	1	2	0	3	7
20歳代	17	13	19	11	7	11	9	9	7	7	7	10	9	40
30歳代	6	8	9	14	14	7	7	10	12	5	6	7	14	44
40歳代	9	13	14	17	10	10	10	13	6	15	10	7	13	51
50歳代	10	14	14	13	24	19	13	17	8	6	9	13	7	43
60歳代	19	17	16	20	20	17	9	18	25	21	18	12	18	94
70歳代	19	20	14	25	19	27	11	20	20	18	26	18	18	100
80歳以上	22	34	37	24	30	23	21	20	22	29	23	29	31	134
<b>性</b>														
男	59	81	75	72	81	72	45	77	70	61	62	64	73	330
女	48	45	52	57	51	47	37	34	31	43	41	36	45	196
<b>類型</b>														
患者	73	89	88	92	100	74	55	64	75	76	76	67	87	381
感染症死亡者の死体	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	1	0	1	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	5
無症状病原体保有者	32	36	38	37	32	44	27	44	25	28	25	31	31	140
<b>病型</b>														
肺結核	56	60	73	74	75	56	38	50	55	57	57	50	61	280
肺結核及びその他の結核	4	4	3	2	5	5	3	2	5	4	6	6	8	29
その他の結核	14	26	12	16	20	14	14	12	15	15	13	11	18	72
疑似症患者	1	0	1	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	5
無症状病原体保有者	32	36	38	37	32	44	27	44	25	28	25	31	31	140

\*:2016年の届出数は暫定値

\*\* :2017年1月からの累積届出数

5月に診断された118人を病型別にみると、肺結核では10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から61人の報告があり、80歳以上が25人と特に多く41.0%を占めた。無症状病原体保有者では80歳以上を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年5月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
<b>総計</b>	61	8	18	0	31	118
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	5	5
10歳代	0	0	1	0	2	3
20歳代	8	0	0	0	1	9
30歳代	5	0	5	0	4	14
40歳代	2	1	3	0	7	13
50歳代	5	0	0	0	2	7
60歳代	7	2	4	0	5	18
70歳代	9	2	2	0	5	18
80歳以上	25	3	3	0	0	31

保健所	感染症発生動向調査週情報										報告患者数										保健所別										平成29年6月5日～平成29年6月11日)									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)																			
全	68	39	208	792	1,190	64	81	30	126	-	31	73	1	61	1	1	2	1	1	-	-																			
川	0.27	0.24	1.28	4.89	7.35	0.40	0.50	0.19	0.78	-	0.19	0.45	0.03	1.53	0.10	0.10	0.20	0.10	0.10	-	-																			
朝	5	9	25	127	212	8	12	1	22	-	11	3	-	16	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	0.19	0.53	1.47	7.47	12.47	0.47	0.71	0.06	1.29	-	0.65	0.18	-	3.20	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	19	3	29	97	141	8	15	-	16	-	24	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.86	0.20	1.93	6.47	9.40	0.53	1.00	-	1.07	-	1.60	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	1	-	13	57	52	4	3	2	5	-	1	7	-	4	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	0.05	-	1.08	4.75	4.33	0.33	0.25	0.17	0.42	-	0.08	0.58	-	1.33	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	1	-	4	27	22	-	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.13	-	0.80	5.40	4.40	-	0.60	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	-	9	6	1	1	2	-	-	-	2	*	*	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	-	3.00	2.00	0.33	0.33	0.67	-	-	-	0.67	*	*	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	4	11	15	3	1	10	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	-	1.00	2.75	3.75	0.75	0.25	2.50	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	3	2	3	59	95	2	6	4	6	-	4	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.21	0.22	0.33	6.56	10.56	0.22	0.67	0.44	0.67	-	0.44	0.11	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	3	1	2	6	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	0.30	0.17	0.33	1.00	-	-	-	0.17	0.33	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	-	16	33	59	2	3	1	8	-	2	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	-	2.67	5.50	9.83	0.33	0.50	0.17	1.33	-	0.33	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	2	7	11	34	37	1	1	1	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.14	0.78	1.22	3.78	4.11	0.11	0.11	0.11	0.33	-	0.11	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	1	-	9	15	51	1	2	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.10	-	1.50	2.50	8.50	0.17	0.33	-	0.50	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	-	13	16	37	68	4	3	2	5	-	2	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	-	1.18	1.45	3.36	6.18	0.36	0.27	0.18	0.45	-	0.18	0.09	-	-	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	8	-	20	57	96	14	17	1	11	-	1	9	1	7	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.32	-	1.25	3.56	6.00	0.88	1.06	0.06	0.69	-	0.06	0.56	0.20	1.40	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	21	-	3	61	36	4	6	-	4	-	1	4	-	1	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	1.75	-	0.38	7.63	4.50	0.50	0.75	-	0.50	-	0.13	0.50	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*																			
朝	1	-	18	31	12	1	4	1	5	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.08	-	2.25	3.88	1.50	0.13	0.50	0.13	0.63	-	0.25	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	3	4	35	131	288	11	4	4	35	-	6	16	-	20	1	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.07	0.15	1.30	4.85	10.67	0.41	0.15	0.15	1.30	-	0.22	0.59	-	2.50	1.00	-	-	-	-	-	-																			

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 6月 13日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第23週 平成29年6月5日～平成29年6月11日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	68	-	2	1	1	2	5	6	7	5	3	-	9	5	5	8	7	-	2	-	-
RSウイルス感染症	39	9	7	11	7	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	208	-	13	66	37	29	21	18	9	6	2	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	792	-	5	34	42	75	118	97	99	100	68	36	88	6	24	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,190	14	87	174	155	125	103	87	86	73	47	30	115	16	78	-	-	-	-	-	-
水痘	64	-	1	4	2	9	6	10	9	6	9	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	81	2	4	35	22	6	2	1	1	-	2	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	30	-	3	5	3	1	5	6	-	1	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	126	2	42	63	16	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	31	-	1	10	5	4	3	2	2	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	73	-	-	2	6	8	12	8	-	8	14	9	5	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	61	-	-	1	2	3	6	2	-	1	2	1	3	-	3	18	12	3	3	3	1
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 21 週

( 5月22日～5月28日 )

平成29年6月14日

インフルエンザの定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(6.58)、岩手県(3.33)、熊本県(2.29)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は43例と前週と比較して減少した。都道府県別では24都道県から報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～9歳(12例)、10代(3例)、20代(1例)、30代(2例)、50代(1例)、60代(2例)、70代(2例)、80歳以上(15例)であった。

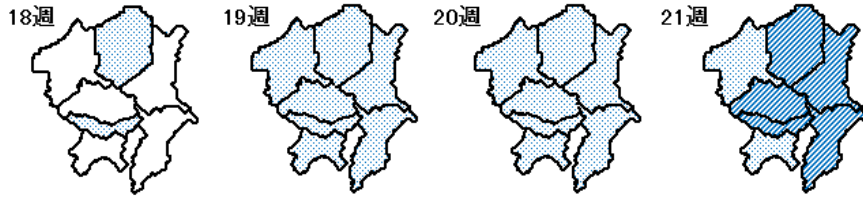
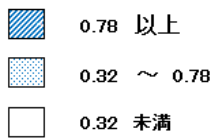
RSウイルス感染症の報告数は698例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.85)、北海道(1.84)、山梨県(1.83)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(8.53)、山形県(6.33)、福岡県(5.45)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(12.17)、大分県(10.75)、福井県(10.59)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(0.89)、宮崎県(0.86)、大分県(0.83)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.09)、宮崎県(3.47)、福岡県(2.88)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.63)、島根県(0.43)、福岡県(0.31)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は長野県(1.67)、島根県(1.65)、愛媛県(1.41)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(1.67)、千葉県(1.00)、秋田県(0.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。45都道府県から200例報告があり、年齢別では0歳(24例)、1～4歳(116例)、5～9歳(52例)、10代(5例)、20代(1例)、30代(1例)、70歳以上(1例)であった。

## <関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、埼玉県(0.88)、茨城県(0.84)、東京都(0.81)、栃木県(0.79)、千葉県(0.78)からの報告が多い。

### 咽頭結膜熱



		平成29年 21週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	3,344	508	23	23	38	92	113	123	96
	定点当たり	0.68	0.34	0.19	0.30	0.40	0.36	0.53	0.30	0.28
RSウイルス感染症	報告数	698	138	6	14	3	20	11	56	28
	定点当たり	0.22	0.14	0.08	0.29	0.05	0.12	0.08	0.21	0.13
咽頭結膜熱	報告数	2,867	724	63	38	37	144	105	212	125
	定点当たり	0.91	0.76	0.84	0.79	0.64	0.88	0.78	0.81	0.58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	10,334	3,292	246	108	198	706	458	847	729
	定点当たり	3.26	3.44	3.28	2.25	3.41	4.33	3.39	3.25	3.36
感染性胃腸炎	報告数	22,877	6,635	334	148	456	1,346	808	2,022	1,521
	定点当たり	7.23	6.93	4.45	3.08	7.86	8.26	5.99	7.75	7.01
水痘	報告数	1,626	547	29	27	14	80	75	157	165
	定点当たり	0.51	0.57	0.39	0.56	0.24	0.49	0.56	0.60	0.76
手足口病	報告数	3,077	392	6	3	18	67	66	143	89
	定点当たり	0.97	0.41	0.08	0.06	0.31	0.41	0.49	0.55	0.41
伝染性紅斑	報告数	330	107	5	4	13	19	14	36	16
	定点当たり	0.10	0.11	0.07	0.08	0.22	0.12	0.10	0.14	0.07
突発性発しん	報告数	1,846	605	26	21	29	108	73	181	167
	定点当たり	0.58	0.63	0.35	0.44	0.50	0.66	0.54	0.69	0.77
百日咳	報告数	28	6	-	-	1	-	2	1	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.02	-	0.01	0.00	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	739	87	1	2	3	22	25	26	8
	定点当たり	0.23	0.09	0.01	0.04	0.05	0.13	0.19	0.10	0.04
流行性耳下腺炎	報告数	1,471	296	10	13	29	78	37	45	84
	定点当たり	0.46	0.31	0.13	0.27	0.50	0.48	0.27	0.17	0.39
急性出血性結膜炎	報告数	10	5	-	-	-	3	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	-	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	605	258	24	14	17	39	35	31	98
	定点当たり	0.87	1.25	1.41	1.17	1.21	0.98	1.00	0.79	2.00
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	18	4	-	-	-	-	1	1	2
	定点当たり	0.04	0.05	-	-	-	-	0.11	0.04	0.22
マイコプラズマ肺炎	報告数	115	21	-	2	5	3	9	2	-
	定点当たり	0.24	0.26	-	0.29	0.63	0.30	1.00	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.10	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	200	34	4	1	8	5	7	7	2
	定点当たり	0.42	0.42	0.31	0.14	1.00	0.50	0.78	0.28	0.22

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

## 埼玉県における食中毒発生状況(2016年)

2016年の食中毒発生状況を下表に示しました。発生件数は23件、患者数は291名でした。

病因物質別では、ウイルス性食中毒が8件、細菌性が13件のほか、寄生虫による食中毒の発生が2件確認されました。

ウイルス性食中毒は、原因ウイルスはいずれもノロウイルスで、1～2月の冬季に集中して発生しました。原因施設は飲食店が5件、仕出屋が1件、給食施設が1件、学校が1件でした。カキを喫食したことによる事例が3件、その他は手指を介した二次汚染が主な原因と推定されました。

細菌性食中毒は、カンピロバクターによる事例が9件、ウェルシュ菌による事例が2件、腸炎ビブリオ、サルモネラ属菌による事例が各1件ずつ確認されました。カンピロバクター食中毒における原因施設は全て飲食店であり、鶏刺し、鶏レバ刺し、加熱不十分な鶏肉の提供および、鶏肉の取り扱い不良等による交差汚染が原因と推定されました。ウェルシュ菌による食中毒は飲食店提供の煮込み料理が原因と推定される事例が1件、給食施設で提供された食品が原因と推定される事例が1件でした。腸炎ビブリオによる食中毒は、弁当が原因と推定される事例1件でした。サルモネラ属菌による食中毒は、飲食店が提供した唐揚げ、やきとり等の鶏肉料理が原因と推定される事例が1件でした。

寄生虫性食中毒は、飲食店で提供された刺し盛り、しめ鯖等が原因と推定されるアニサキス症が1件のほか、クドア・セプテンブクタータに汚染された韓国産ヒラメ刺身の喫食による事例が1件確認されました。

表 2016年 埼玉県における食中毒発生状況(政令市、中核市を除く)

病因物質	摂食者数	患者数	発生日	原因食品	原因施設
ノロウイルス	35	10	1月23日	給食	給食施設
ノロウイルス	17	9	1月23日	生ガキ	飲食店
ノロウイルス	30	20	1月24日	会食料理	飲食店
ノロウイルス	19	10	1月30日	生ガキ	飲食店
ノロウイルス	40	12	2月5日	調理実習での食事(カキ等)	学校
ノロウイルス	102	54	2月24日	事業所給食	飲食店
ノロウイルス	30	23	9月29日	弁当	仕出屋
ノロウイルス	31	13	10月30日	飲食店の食事	飲食店
カンピロバクター	10	5	3月27日	鶏レバ刺し等	飲食店
カンピロバクター	3	3	4月13日	鶏わさ	飲食店
カンピロバクター	31	14	6月19日	鶏たたき	飲食店
カンピロバクター	4	4	7月19日	やきとり	飲食店
カンピロバクター	9	5	8月23日	鶏刺し	飲食店
カンピロバクター	13	5	11月8日	鶏レバ刺し	飲食店
カンピロバクター	23	7	11月12日	鶏たたき、鶏レバー	飲食店
カンピロバクター	4	3	11月13日	やきとり	飲食店
カンピロバクター	4	4	11月15日	飲食店の食事(やきとり等)	飲食店
腸炎ビブリオ	25	19	7月21日	弁当	飲食店
ウェルシュ菌	13	12	9月30日	飲食店の食事(煮込み料理)	飲食店
ウェルシュ菌	195	32	10月22日	かき玉うどん	給食施設
サルモネラ属菌	29	17	9月25日	飲食店の食事	飲食店
クドア・セプテンブクタータ	13	9	5月25日	ヒラメの刺身	飲食店
アニサキス	4	1	11月13日	刺し盛り	飲食店
合計 23件	684	291			



**感染症発生動向調査 2017年**

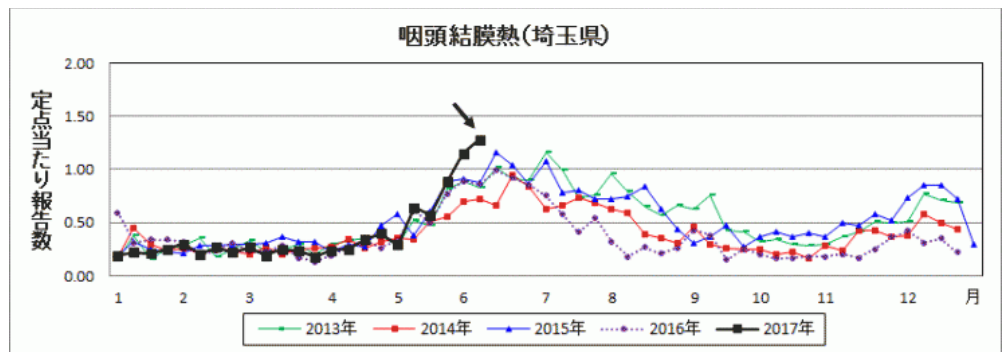
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)

**感染症の流行状況 2017年 第23週**

2017年第23週（平成29年6月5日～6月11日）の要点 平成29年6月14日

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、3週続けて増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



**感染症流行状況**

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↑	★★★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↑	★★★

\*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン